No.	1 建替え時の影響	2-1 CO2 排出量 (脱炭素社会への貢献度)	2-2 炭素の固定化 (脱炭素社会への貢献度)	3 イニシャルコスト	4 ライフサイクルコスト	1 国道への顔づくり	2-1 平面計画の自由度・柔軟性 (計画の自由度)	2-2 庁舎と公民館の往来のしやすさ (計画の自由度)	2-3 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ (計画の自由度)	2-4 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ (計画の自由度)	2-5 音・匂いが出る室の配置のしやすさ (計画の自由度)	3 駐車場 (P)の配置	4-1 平面計画の自由度・柔軟性 (病院との関係性)	4-2 病院からの浅間山への眺望 (病院との関係性)	新たな視点や、自分の考えを自由記述
1	△	不明	不明	不明	不明	△	△	△	不明	不明	不明	△	△	△	庁舎、公民館、病院全てのロータリー及び駐車場の出入り口が、一本の道路に面しているように見えるが、病院は、迂回道路から駐車場に入れるのかよくわからない。 混雑時の考慮されているのだと思うが、どうなのでしょう。 当然、利用者数、交通量調査などとしてあり、専門家が右左折規制などシミュレーションしていると思うので念のための意見です。
2	◎	◎	◎	△	◎	○	○	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	公民館や役場は災害時には観光客の一時避難場所となることも考えられる。 軽井沢は近年日帰り観光客も増加しており、万が一何らかの災害が発生し新幹線等が長期に普通になった場合など一晩以上滞在せざるを得ないことも考えられ、公民館はきちんと新築した方が良い。 軽井沢は北海道並の寒さであり、冬の暖房費用やCO2削減も考えてすべての窓やドアを高断熱にするべきだと思う。 公民館は民間にもう大きく開放し、色々なイベントができる場にした方が良い。 (いわゆる昔ながらの公民館とは一線を画した高原リゾート地軽井沢らしい公民館を目指すべき)
3	○	◎	○	◎	◎	△	○	○	○	○	◎	○	○	△	機能 (住民サービス提供に便利) と耐震性を考えイニシャル及びランニングコストの低いものを選ぶ。病院からの浅間山の眺望、庭園などは考えなくてもよい。
4	△	不明	不明	○	○	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	・現在の中央公民館は建替えが必用。大講堂は100名が30分以上居るとCO2濃度が上昇し、眠くなり、気分が悪くなる。換気設備が不十分。また通路はさんだ北側の居室は冬はいくら暖房をしても温まらない。断熱設備がほぼない。築年数からも現在の建築設備の改修では町民が安心して利用できる建物ではない。形はどうあれ新築することが必用。